



古紙の分別排出促進と 回収円滑化のための 課題



2024年
2月24日(土)
13:30 ~ 16:00

雑がみの分別排出促進策を考える

東洋大学名誉教授・ごみ減量資料室代表

山谷 修作 さん

可燃ごみ中の資源性古紙の約半分が雑がみ。その分別率が低いのは①資源性に気づかない認識ラグ、②気づいたが分別に至らない行動ラグによります。

広報で認識は高まるも、行動誘因が課題であり、行動のきっかけとなる雑がみ袋全戸配布の効果などを取り上げます。

家庭から出る可燃ごみの中には、生ごみと並んで紙ごみが多く含まれています。

紙ごみには、汚れた紙などのほかに、新聞、雑誌・書籍、雑がみ、段ボール、紙パックといった資源化可能な紙（古紙）がかなり混入しています。

ごみの焼却を減らし、資源として有効活用するためには、紙ごみの発生抑制とともに、古紙のさらなる分別排出・資源化が求められます。

今回の市民ごみ大学セミナーでは、古紙の分別排出を促進し、回収を円滑に進めるための課題を明らかにします。

古紙の分別排出を促進するためには、まず可燃ごみ中の古紙の約半分以上を占める雑がみの分別排出を促進する必要があり、その促進策を自治体の廃棄物行政に精通しておられる山谷修作さんに伺います。

また、分別排出された古紙の回収現場での課題と古紙リサイクル事業の現状について、資源回収業界の新進気鋭のリーダーである紺野琢生さんにお話していただきます。

回収現場での課題と 古紙リサイクル事業の現状

日本再生資源事業協同組合連合会 理事・調査研究委員長
東京都資源回収事業協同組合 理事・総務委員長
東多摩再資源化事業協同組合 専務理事・広報委員長
株式会社三栄サービス 代表取締役

紺野 琢生 さん

雑がみの回収拡大に伴い、段ボール箱の中に雑がみ類が混入しているケースや、禁忌品の混入が増えています。また、多摩地域では、資源物も戸別収集化が進んでおり、置き配の誤回収などの問題も出てきています。そのような回収現場での課題と、古紙リサイクル事業の現状についてお話しします。



ごみ・環境ビジョン21

〒184-0013

東京都小金井市前原町4-11-15 井上方

TEL: 080-9291-3623 / 080-1131-6205

FAX: 042-383-1668

e-mail: gomikan21@yahoo.co.jp

HP: <https://gomikan21.com/>

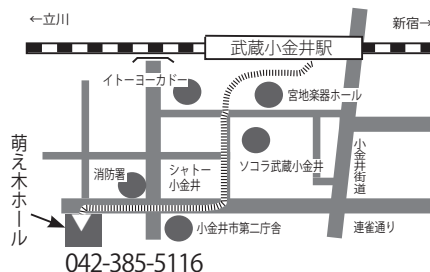
会場 小金井市市民会館（商工会館3階 萌え木ホール）

武蔵小金井駅 南口 徒歩7分

申込み不要。
直接会場へおいでください。

参加費（資料代）

会員・学生：無料
一般：500円



042-385-5116